

Pronto®を用いた血液透析患者の下肢血流評価

医療法人衆和会 長崎腎病院 長崎腎クリニック

○井手真吾、林田征俊、田中 健、矢野利幸、高木伴幸、澤瀬健次、橋口純一郎、原田孝司、船越 哲

【背景】

Masimo 社製 Pronto®は、迅速な簡易 Hb 測定と動脈の拍動性信号(AC)と静脈や組織等の無拍動信号(DC)の比率によって算出される灌流指標 (PI)により末梢灌流の状態を非侵襲的に測定可能な機器である。

【目的】

Pronto®で測定された灌流指標による血液透析患者の下肢血流評価の有用性を検討する。

【対象・方法】

問診や触診など行った結果、末梢動脈疾患 (PAD)もしくは早期の PAD が疑われる血液透析患者 46 名(男 29 名、女 17 名、平均年齢 71.0 ± 10.6 歳、平均透析歴 10.9 ± 10.0 年、DM22 名)に Pronto®を用いて PI 値を測定し、透析関連因子や皮膚再灌流圧 (SRPP 値)との関連性を調査した。

【結果】

PI 値と SRPP 値および透析歴との間には中等度の正の相関が認められた。年齢との間には中等度の負の相関が認められた。また、SRPP 値のカットオフ値を 40mmHg 未満とした場合、40mmHg 未満群の PI 値は 40mmHg 以上群に対し有意に低かった。(P<0.01)

【考察】

今回、PI 値と SRPP 値に相関関係が認められたことより、Pronto®は SRPP 検査と同様に血液透析患者における下肢末梢血流評価に有用である可能性が示唆された。また、簡便・迅速な血流評価が可能のため、特に外来維持透析患者の下肢末梢血流評価に有益であると思われ、今後、カットオフ値を含め血液透析患者における Pronto®の活用法を検討していきたい。